



MRAPID

Monthly Report on Aomori Prefectural Infectious Disease

青森県感染症発生情報

2006年6月 (2006年7月7日発行)

青森県感染症情報センター

(青森県環境保健センター内: 担当 微生物部)

TEL 017-736-5411 FAX 017-736-5419
 青森県環境保健センターホームページ
<http://www.pref.aomori.lg.jp/eiken/index.html>

1. 第22週から第26週(5月29日~7月2日)までの動向

- 1) STDはすべての疾患において増加傾向にあります。
- 2) 全数把握疾患については以下のとおりです。
 腸管出血性大腸菌感染症が2名、つつが虫病が10名、その他、レジオネラ症、ウイルス性肝炎が各々1名報告されています。

2. STD発生状況

1) 保健所管内別

	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計	
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点
75 性器クラミジア	10	3.33	10	3.3	5	2.50			5	2.50			30	2.31
76 性器ヘルペス			2	0.7	5	2.50	1	0.50	1	0.50			9	0.69
77 尖圭コンジローマ	2	0.67	4	1.3	1	0.50					1	1.00	8	0.62
78 淋菌感染症	2	0.67			4	2.00			1	0.50			7	0.54

2) 年齢別・性別

年齢	75 性器クラミジア		76 性器ヘルペス		77 尖圭コンジローマ		78 淋菌感染症		青森県計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0~1										
1~4										
5~9										
10~14		1								1
15~19		2			1	1	1		2	3
20~24	3	9		1	1	2	1		5	12
25~29	3	4			1	1	3		7	5
30~34	1								1	
35~39	1	1	1						2	1
40~44	2		1				1		4	
45~49	2		1			1			3	1
50~54			1						1	
55~59				1						1
60~64	1		1				1		3	
65~69										
70~				2						2
合計	13	17	5	4	3	5	7		28	26

3. 薬剤耐性菌発生状況

1) 採取部位別

	採取部位別											青森県合計
	喀痰	留置カテーテル	術創部(創部感染)	耳漏液	気管洗浄液	血液	髄液	胸水	腹水	膿	その他	
85 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2										5	7
81 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症												
86 薬剤耐性緑膿菌感染症												

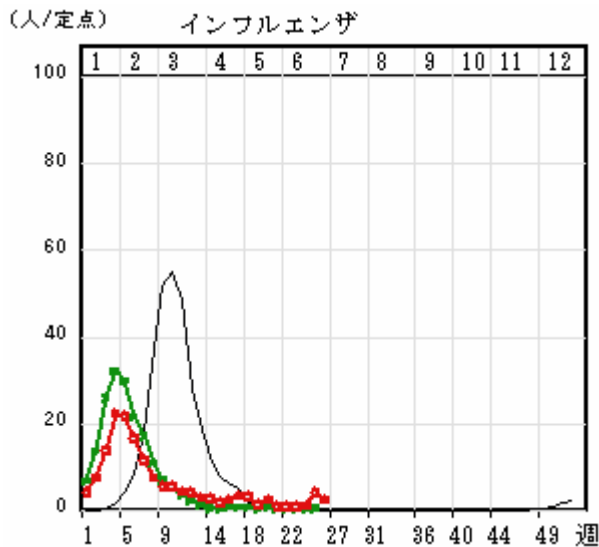
4. 全数把握感染症 (2006年)

	疾患名	青森県		全国	
		当月	累計	当月	累計
1類 感染症	1 エボラ出血熱				
	2 クリミア・コンゴ出血熱				
	5 ペスト				
	6 マールブルグ病				
	7 ラッサ熱				
	8 急性灰白髄炎				
	9 コレラ			2	14
2類 感染症	10 細菌性赤痢			16	182
	11 ジフテリア				
	12 腸チフス			3	34
	13 パラチフス				10
3類	14 腸管出血性大腸菌感染症	2	2	177	483
4類 感染症	15 E型肝炎				10
	17 A型肝炎		2	9	51
	18 エキノコックス症			1	7
	19 黄熱				
	20 オウム病			3	10
	21 回歸熱				
	22 Q熱				
	23 狂犬病				
	25 コクシジオイデス症				
	27 腎症候性出血熱				
	28 炭疽				
29 つつが虫病	10	13	48	85	

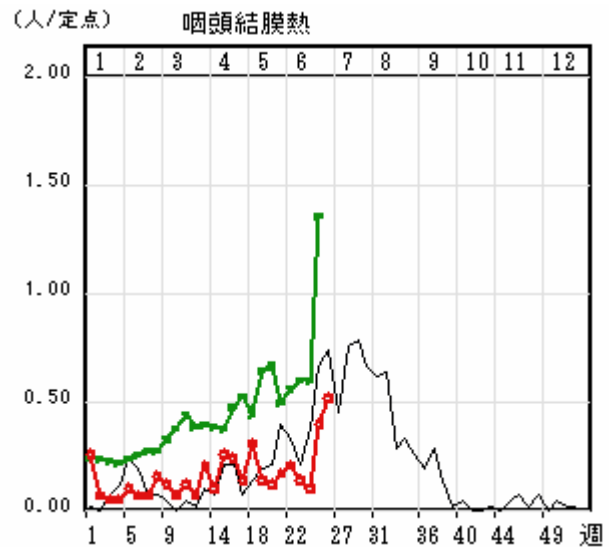
	疾患名	青森県		全国	
		当月	累計	当月	累計
4類 感染症	30 デング熱			2	15
	32 日本紅斑熱			5	6
	33 日本脳炎				
	34 ハンタウイルス肺症候群				
	35 Bウイルス病				
	36 プルセラ症			1	2
	37 発しんチフス				
	38 ボツリヌス症				
	39 マラリア			2	17
	41 ライム病			1	1
	5類 感染症	43 レジオネラ症	1	1	9
45 アメーバ赤痢				7	146
46 ウイルス性肝炎		1	1	5	38
47 急性脳炎				4	11
48 クリプトスポリジウム症					2
49 クロイツフェルト・ヤコブ病				1	47
50 劇症型溶血性レンサ球菌感染症				6	32
51 後天性免疫不全症候群			3	31	241
52 ジアルジア症				4	23
53 髄膜炎菌性髄膜炎				1	5
54 先天性風しん症候群					
55 梅毒			2	18	138
56 破傷風				1	18
58 パンコマイシン耐性腸球菌感染症		1	1	1	20

5. 定点把握感染症の推移

○—○ : 当年 (青森県) — : 前年 (青森県) ×—× : 当年 (全国)

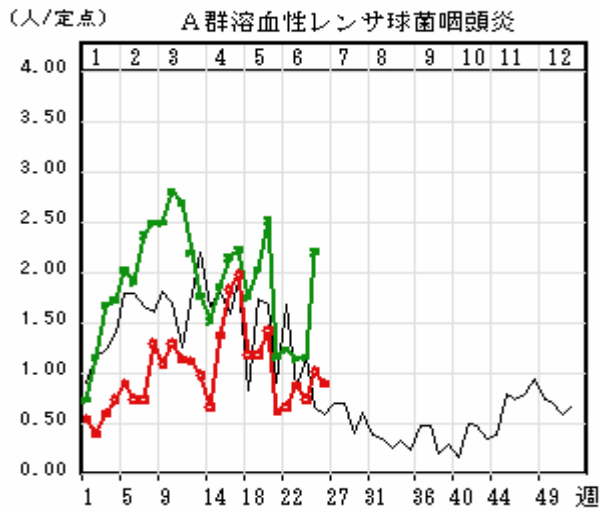


[八戸、上十三、むつ保健所において、多い報告数が継続しています。]

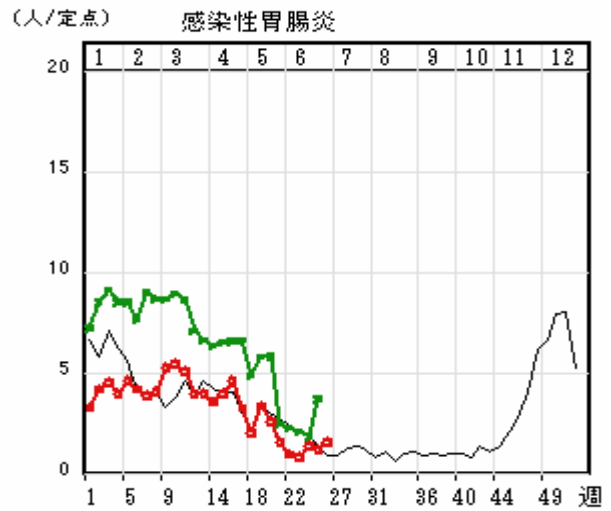


[全国同様、6月に急増しています。]

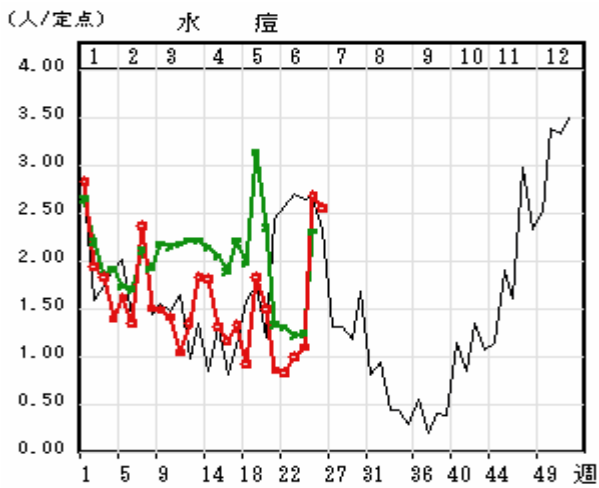
○—○ : 当年 (青森県) — : 前年 (青森県) ×—× : 当年 (全国)



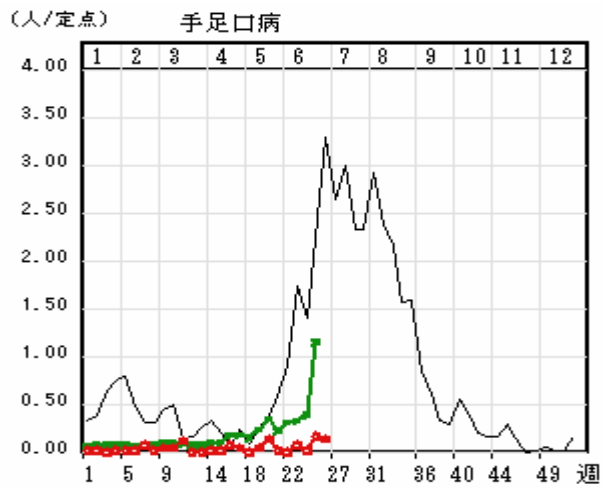
[上旬には減少した報告数が再び増加傾向にあります。]



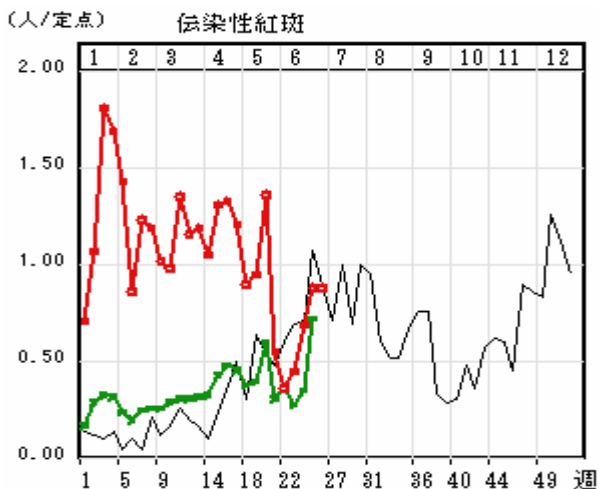
[減少傾向にあります。]



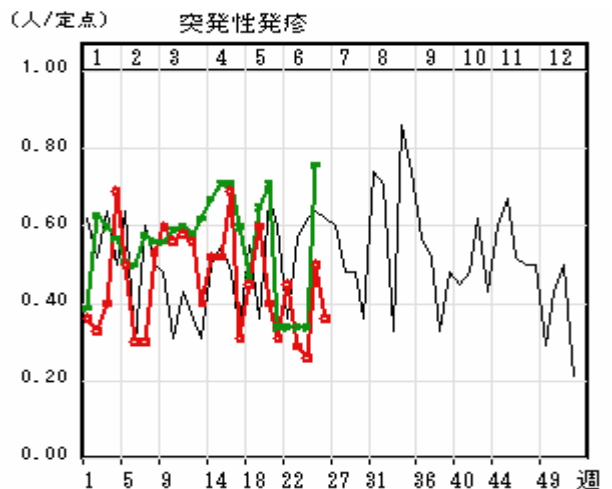
[6月下旬に急増しています。]



[当月は、22件の発生報告がありました。]

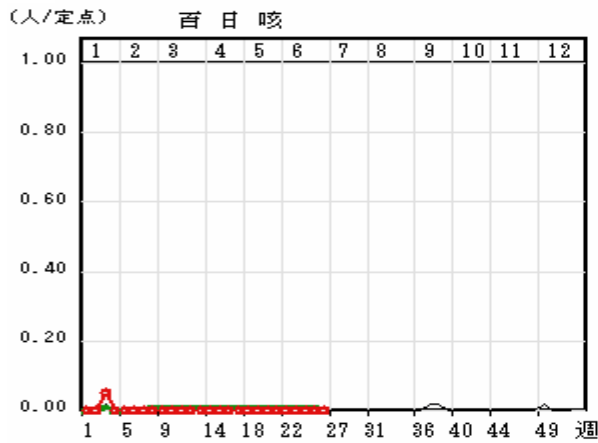


[五所川原、上十三保健所管内で多い報告数です。]

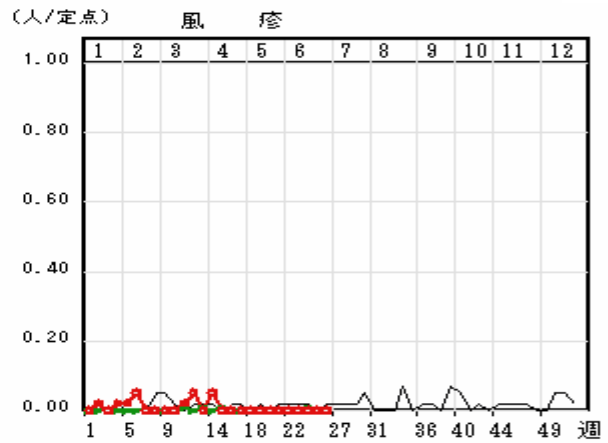


[増減を繰り返しながら推移しています。]

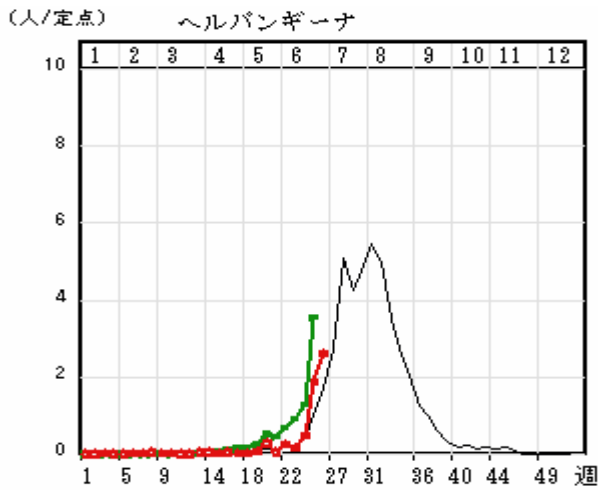
○—○ : 当年 (青森県) — : 前年 (青森県) ×—× : 当年 (全国)



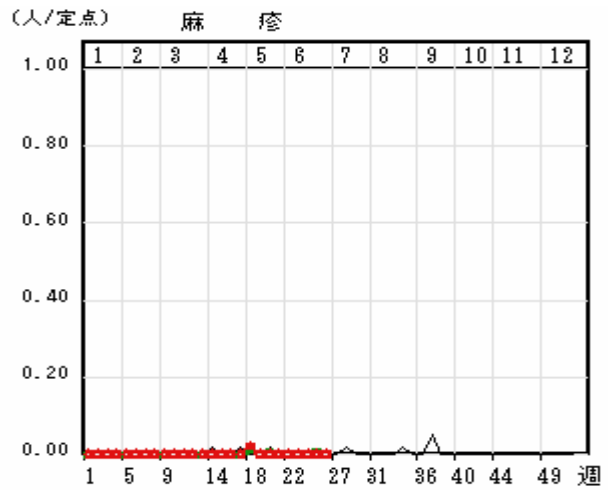
[当月は、1件の発生報告がありました。]



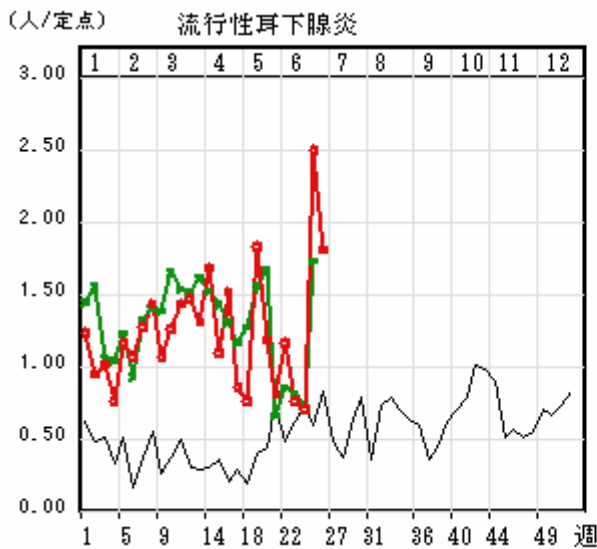
[当月は、発生報告がありませんでした。]



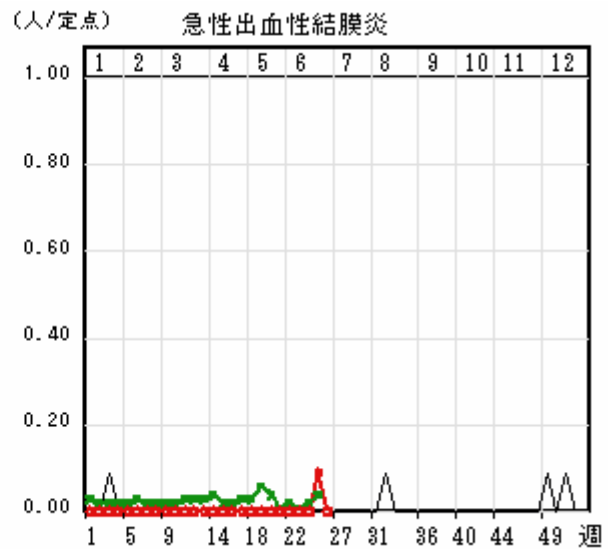
[弘前保健所管内で急増しています。]



[当月は、発生報告がありませんでした。]

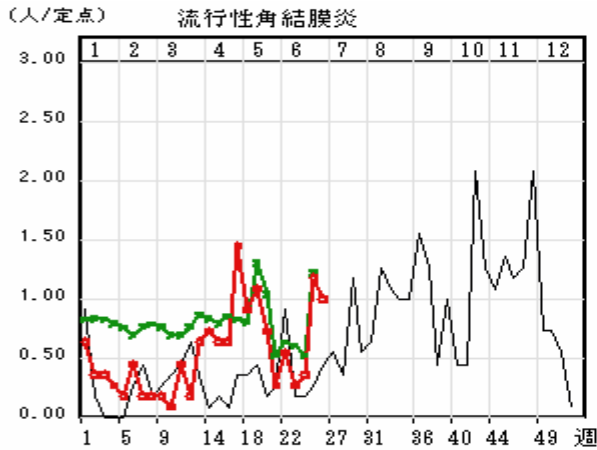


[増減を繰り返しながら推移していましたが、下旬には多い報告数となっています。]

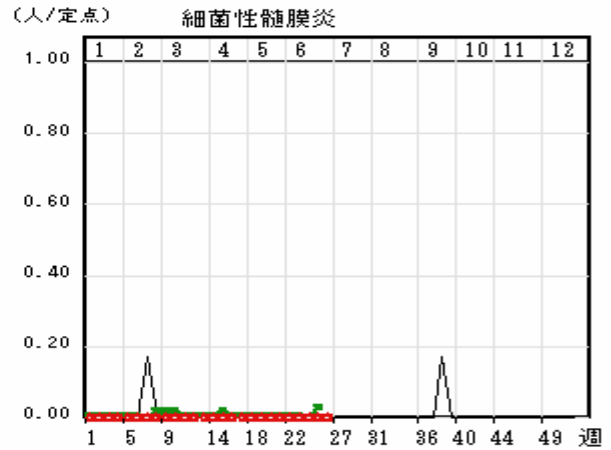


[当月は、1件の発生報告がありました。]

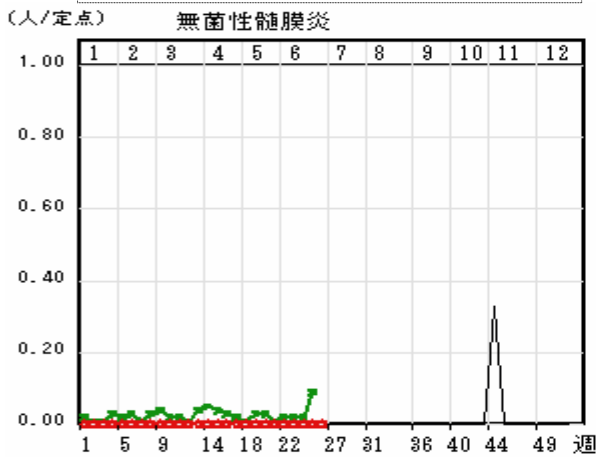
○—○ : 当年 (青森県) — : 前年 (青森県) ×—× : 当年 (全国)



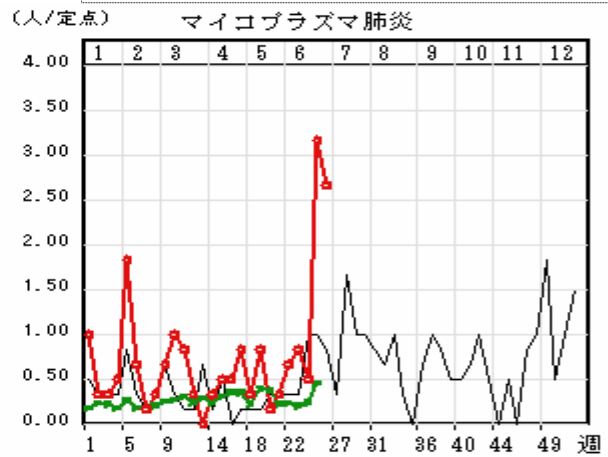
[増減を繰り返しながら推移していましたが、下旬には再び多い報告数となっています。]



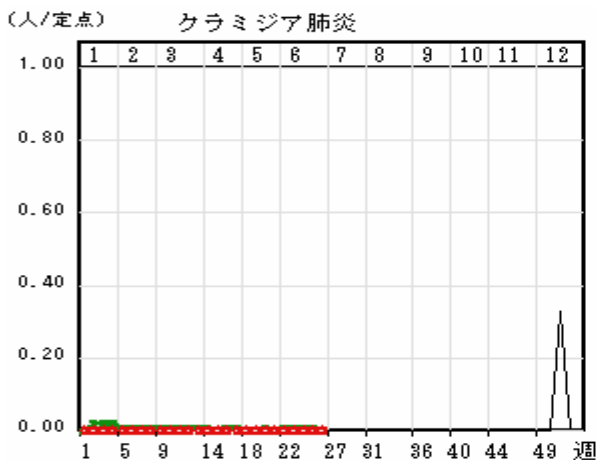
[当月は発生報告がありませんでした。]



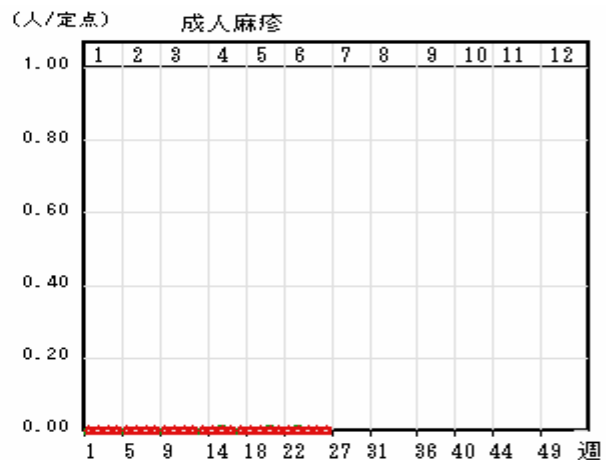
[当月は発生報告がありませんでした。]



[6月下旬に急増しました。]



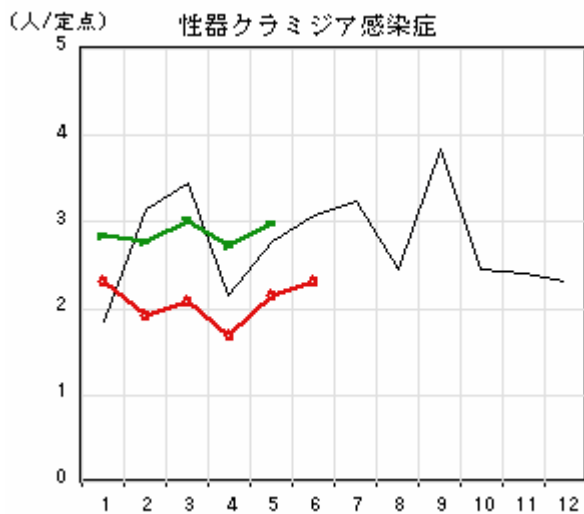
[当月は発生報告がありませんでした。]



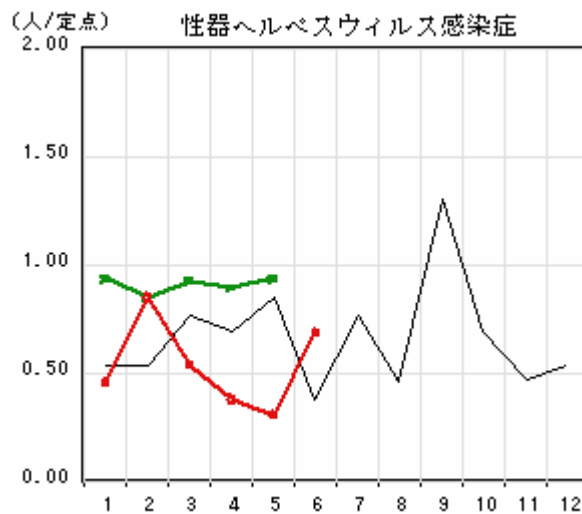
[当月は発生報告がありませんでした。]

6.STD 感染症の月別推移

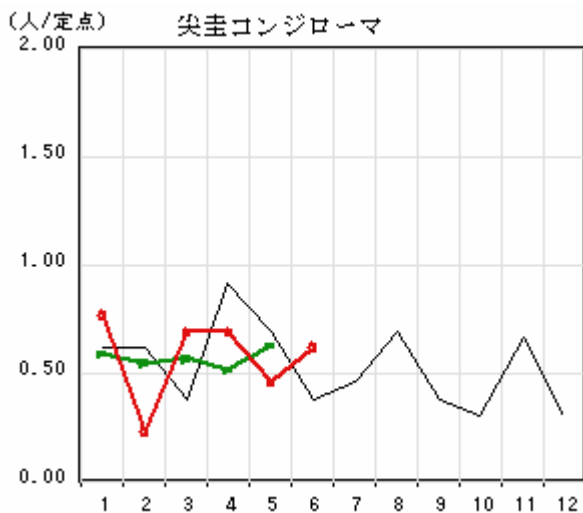
○—○ : 当年 (青森県) — : 前年 (青森県) ×—× : 当年 (全国)



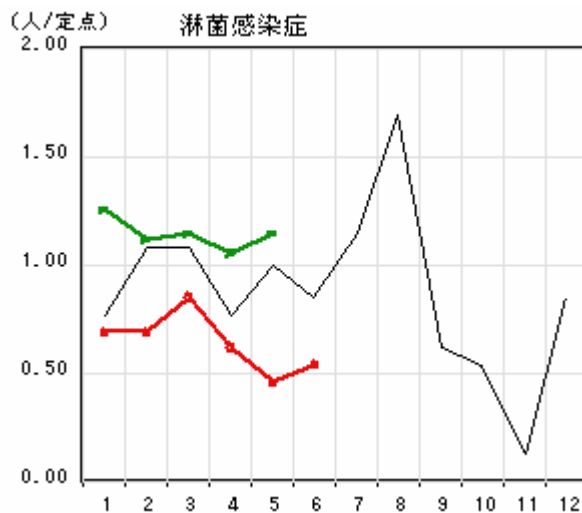
[前年を下回った値ですが、増加傾向にあります。]



[6月は増加傾向にあります。]



[当月は、やや増加しました。]



[増加傾向にありますが、少ない報告数で推移しています。]